

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス こぼんはうすさくら札幌太平教室

対象人数(保護者)27人 回答者数 14人 回収 51.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14					
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			2		
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	13			1		
	⑥	事業所が公表している支援 プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っている と思いますか。	14					
	⑦	こどものことを十分に理解し、 こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、放課後等 デイサービス計画（個別支援計画）が 作成されていると思いますか。	13	1				
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後 等デイサービスガイドラインの「放課後等 デイサービスの提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目が適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定されている と思いますか。	13			1		
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った 支援が行われていると思いますか。	14					
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化され ないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1	プログラムは良く考えられている と思います。	プログラムは5領域に沿った内容を日替 わりで行っております。土日祝日は、おで かけやイベント活動を行う事で“体験”を 通して学びを得る事に重きを置いており ます。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、 地域の他のこどもと活動する機会が ありますか。	4	1	3	6		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		2	4		
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	1			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		1		
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	2	4		
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1	1		
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1				
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	定期的に配信されているので楽しみにしています。	活動内容の発信は、ブログ・インスタ等で行い、活動概要や行事予定は、書面やHUGのシステムを通して行っております。連絡は主に電話やLINEを活用、自己評価表はHPに記載しております。
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		4		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		3		
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1		
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			4		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	1				
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			まだ通い始めたばかりで緊張があるようです。	環境や職員に慣れたり、事業所と信頼関係を築いていくには時間がかかると思います。 お子さんが安心して通う事が出来るように、職員一同精進してまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	12	2				

公表日

2026年

2月

3日

事業所名

こぼんはうすくら 札幌太平教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	時間で活動を区切っている。	クールダウンのための個別部屋がほしいが、今はテントで代用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	13	0	職員の休憩時間をズラシ、手厚い配置が出来るように工夫している。	利用児を見切れていないと感じる事がある。送迎中の人員配置・活動内容を工夫していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2		構造化できる部分は改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	3	掃除の係を割り当てており、日々の清掃以外の季節の掃除も管理している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	4		集合の時間が各々の放課後のため、学習をしている子も静かに遊んでいる子も同じ空間にいるという時間がある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	月1回の職員会議にて、目標の確認と振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	HPへ記載。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	定期的に従業員会の面談を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2	グループ会社の内部監査を定期的に受けている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	社内に研修担当を配置。内外の研修の周知を行い、職員に参加したい研修を募っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	毎月のプログラムはHUGと紙ベースで配布。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	保護者の方に事前に記入していただいたアセスメントシートを基に面談を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	職員会議の分科会や日々カンファレンスを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1	計画が出来た段階で、全体ラインで周知。職員の目の付く場所に支援計画を書いたホワイトボードを提示している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	フォーマルなアセスメントシートは個別支援計画更新の際に使用している。	インフォーマルなアセスメントに関しては、行う職員により差が生じる恐れがあるため、共有の仕方に注意が必要。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	適切に運用されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	月ごとに担当の職員がでまかなプログラムを立案し、その後チームで細かい調整を行って。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	イベントやおでかけは季節に合わせたものを用意している。	職員の専門性を生かしたプログラムをもっと増やしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	通常は集団の中で個別対応を行っている。	個別課題は職員と一対一で、社会性の課題の際には集団の活動の中で等、相互作用で療育を行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1	朝礼後、内容の確認と分担を行っている。メインの活動担当の職員が中心となって動きの指示を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	支援終了後の打ち合わせが難しいため、共有事項は即時ラインで行っている。	ラインを見ていなかったという事も起こりうる。職員間でコミュニケーションを取ることが大切。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	3	HUGにサービス提供実施記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1	個別支援計画更新の際にモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	12	1	特に土日祝日のイベントやお出かけでは、多様なプログラムを提供出来ている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0	適切に運用されている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	センター園主催のサービス担当者会議に参加し、関係各所と連携を取っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	利用児の通う学校と連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	利用児童の登校状況、時間割の確認等適宜やり取りを行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	2	併用事業所とは支援方法について情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0	前例なし。	今後そのケースが発生した場合には情報を提供する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	3	センター園と定期的に事業所の運営状況を話す機会がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	11	現在児童館との交流は行っていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	4	出席出来る職員で出来る限り参加するように努めている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	主に送迎時に今日あった事や最近の出来事のフィードバックを行っている。	そのために利用児の支援方法について常に話し合っている。こういった事案があったと報告、改善方法をラインで共有、実践という形を取っている。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	4	市や自立支援協議会等から、保護者向けの研修があった際には案内を行っている。	ペアレントトレーニングという形では実施出来ない。 今後保護者会等開催予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時に丁寧に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	アセスメントシートを用いて面談を行ったうえで支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0	適切に運用されている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	ライン、HUG、電話、面談等、保護者の方の都合に合わせていつでも相談を受けられる体制を整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	9	親子参加の運動会やソリ大会を実施している。	保護者会という名目で会を開催予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	契約時に苦情の窓口を伝えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	適切に運用されている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	適切に運用されている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	個々のご家庭の都合に合わせて情報を共有している。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	7	事業所に地域住民を招待したことはない。	事業所でイベントを開催した際に、SNSで発信、招待する形を取る。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	契約時にフェイスシートにて聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	適切に運用されている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1	適切に運用されている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	何か起きた時には書いている。	書きましたという周知はされているが、確認する習慣をつけると良い。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	年間でスケジュールを立てて、適切に運用されている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1	支援計画には記載していない。	身体拘束が一時的なものではなく継続的なものになる場合に、身体拘束を行う場合があるということを契約時に説明している。